

漁況情報 No.22

平成20年12月15日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915 / Fax : 0193-26-7920 / E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

《 12月上旬のトピックス 》

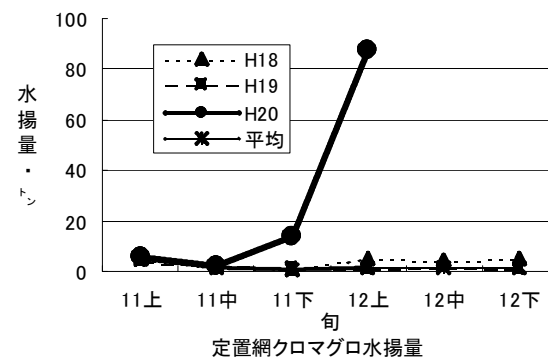
クロマグロ、スルメイカ(定置網)の水揚げは 好調です。

アキサケ(定置網)の水揚げは 前年、5ヶ年平均ともに上回りました。

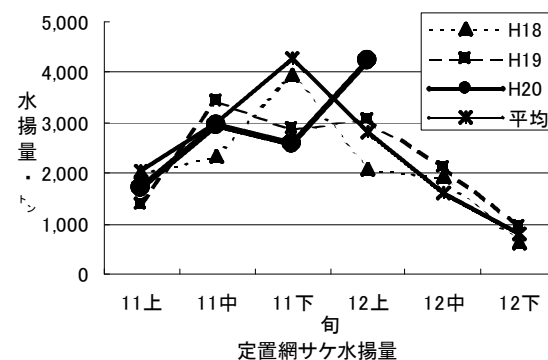
カクチイシ(定置網)は平年並みまで減少。サンマ(棒受網)は依然好調です。

1. 水揚げ状況(県内主要6港集計値)

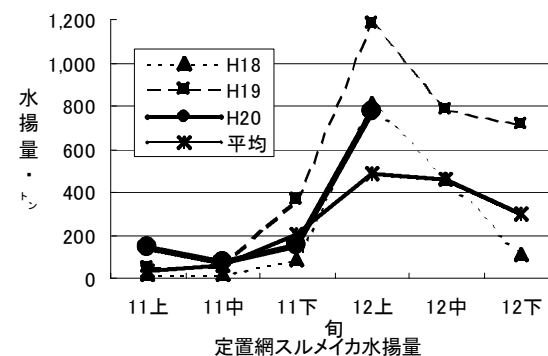
(1)クロマグロ(定置網)は大船渡、釜石を中心に水揚げがあり、12月上旬の水揚げ量は88トン(前年同期の169.8倍)でした。また、過去5年間の12月上旬平均水揚げ量は2トンで、旬水揚げはその52.9倍でした。年累計は245トン(前年同期の2.6倍)です。



(2)アキサケ(定置網)は大船渡、釜石を中心に水揚げがあり、12月上旬の水揚げ量は4,240トン(前年同期の1.4倍)でした。また、過去5年間の12月上旬平均水揚げ量は2,810トンで、旬水揚げはその1.5倍でした。年累計は13,036トン(前年同期の95.2%)です。



(3)スルメイカ(定置網)は山田、宮古を中心に水揚げがあり、12月上旬の水揚げ量は779トン(前年同期の65.1%)でした。また、過去5年間の12月上旬平均水揚げ量は485トンで、旬水揚げはその1.6倍でした。年累計は4,279トン(前年同期の1.3倍)です。



2. 調査結果、その他の情報

◎ブリ幼魚(ショッコ)精密測定結果

12月1日に釜石魚市場(定置網)に水揚げされたブリ幼魚(銘柄/ショッコ)の精密測定を行いました。体長(尾叉長)の範囲はオスが28～40cm、メスが33～40cmでした。主体はオスが38cm、メスが35、38cmでした。

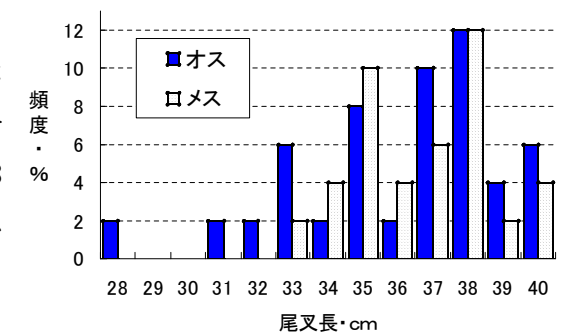


図 ブリ幼魚体長組成(釜石魚市場・定置網、12/1)

◎岩手丸によるトロール調査結果

11月26日と30日に釜石沖合の4地点(水深200～350m)で着底トロールによるタラ類の加入量調査を行ったので、その結果をお知らせします。

本調査で観測された水温は、水深200m付近で10～11℃と前年同期よりも5℃程度高く、水深300m付近でも4～5℃と前年同期よりも1～2℃高くなっていました。

本年度の調査で採集されたマダラは水深300m付近のみから採集されました。体長14cmにモードを持つ本年生まれの分布密度は、前年同期の1%に満たない水準(84尾/1000km²)と推定され、体長30cmにモードを持つ前年生まれでは、前年同期の40%程度(380尾/1000km²)と推定されました。一方、スケトウダラは水深300m付近のみから当歳魚のみが採集され、その分布密度は前年同期の3%程度(516尾/1000km²)であると推定されました。

本年度の結果は、マダラ、スケトウダラともに平成16年以降最低水準となっており、本年生まれの本県沖合への加入が前年に比べて大幅に減少したとみられます。

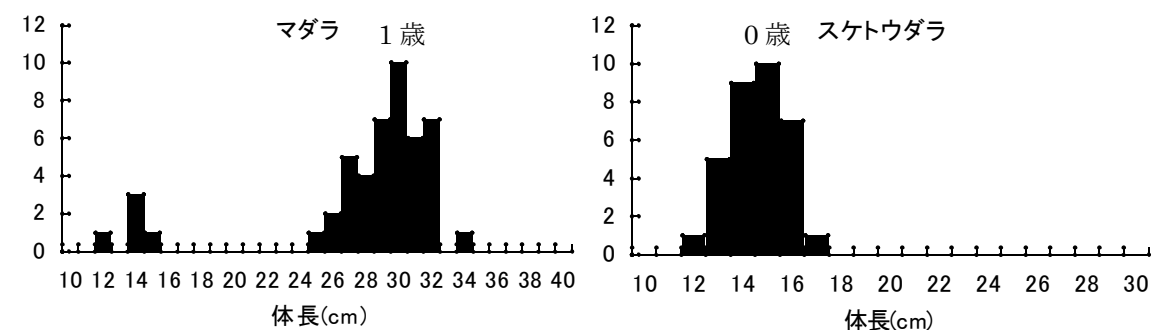


図 着底トロール調査で採集されたマダラとスケトウダラの体長組成

県内魚市場の市況情報・定地水温は・・・ [フィッシュリネット・いわて](#)

検索

※日別・市場別・魚種別の水揚げ状況や、期間を指定した水揚げ統計の集計などができます。